



オンデマンド研修・自己確認シート

[京都市の自主防災組織]

- 室町期に自衛や自治に対する関心が飛躍的に高まり、町衆の住む町々の団結や組織化を推進させ、が結成された。
- 明治維新の廃藩置県で、上京 1 から 33 、下京が 1 から 32 の計 65 の町組が成立し地理的なまとまりが生まれた。
- 番組は地域行政、警察、消防機能を持ち、町民たちが自分たちでお金を出し合い、日本で最初の学区制小学校である 小学校を作った。
- が元学区という形で残り、以後、学区コミュニティが定着し、現在の学区単位の自治活動、自主防災活動につながっている。
- 市民の集団的防火意識の向上と実践を図る組織として、元小学校区を単位とした一定地域を 地区とし、町内ごとに選任された 委員が中心となって、自主防火が進められた。
- その後、全市的に自主防火活動が展開されるようになり、地区の発展的解消を行い、市内全域で が結成された。
- 京都市では、この が土台となって に発展している、これまでの火災予防に、地震や風水害への対応も含めた地域住民による防災まちづくりに取り組んでいただいている。